

イリョウジンオメザスガクセイノシヨクギョウイ メージニカンスルヨビテキチヨウサ

村田, 節子

長家, 智子

<https://doi.org/10.15017/279>

出版情報 : 九州大学医療技術短期大学部紀要. 27, pp.15-20, 2000-03. Kyushu University School of Health Sciences Fukuoka, Japan

バージョン :

権利関係 :



医療人を目指す学生の職業イメージに関する 予備的調査

村田節子 長家智子

Preliminary Study on the Students' Proper Image for the Profession Who Intend to Be Medical Co-Workers.

Setsuko Murata, Tomoko Nagaie

Key Words : 看護婦のイメージ, 異なる医療職, 職業イメージの比較, CO-WORKER, 職業意識の変化

I はじめに

21世紀を迎えようとしている今日, わが国の医療事情は大きく変化している。特に現代社会においては個人個人の生活の質が重視されてきており, 社会が医療人に求める資質も高くなってきている。当然医療人のモラルや質の問題に関する世間の関心も高まっているところである。

しかし一方で, ここ数年の医療に関するマスコミ報道を見てみると, 医療事故や医療にまつわる不祥事が続いている。又, 学生の卒業後の燃え尽き症候群や, 今後医療人となるべき学生たちの, 気質や考え方の変化が指摘されている。

イメージとは「心の中に思い浮かべる像」「姿, 形象, 映像」のことである¹⁾。ポウルディングは²⁾、「行動はイメージに依存し, イメージが変わればそれに応じた行動をするようになる」と述べている。今回我々は, 学生の職業イメージを捉えることが今後の学習の動機づけに対する一助となると考えた。過去に, 看護学生同士の職業イメージの比較はいくつかの報告が見られるが^{3,4,5)}, 異なる医療職を目指す学生間の比較の報告はほとんど見られない。医療は, 様々な職種の間で行われているものであり, お互いの職業に対する理解が必要であると考えた。そこで, 異なる医療職を目

指す学生から見た看護婦に関するイメージと, それぞれの職業のイメージを調査し比較検討したので報告する。

II 研究方法

- 1 調査対象: 本学一年生(看護学科79名・衛生技術学科39名・診療放射線学科28名)
- 2 調査方法: 質問紙による, 留め置き法での調査。自由筆記法とした。
- 3 調査時期: 入学後3週間目。
- 4 調査内容: 年齢, 性別, 入院・通院経験の有無, 看護および看護業務に対するイメージ, 看護婦に対するイメージ, (看護学科以外の学生に対して)自分の目指す職業に対するイメージ, その業務内容に対するイメージ, 看護婦との業務内容の違いについて自由に記述させた。
- 5 分析方法:
 - ① 自由筆記法で記載された内容の中から, 職業に対するイメージを表す言葉を抽出する。
 - ② そのイメージ語をKJ法を用いてカテゴライズする。
 - ③ 学生のイメージ特性を学生の専攻分野別に抽出し, 相互間の比較をする。今回はそのうち, 看護婦のイメージに対する比

較と、看護学科学生と他の学科の学生のそれぞれの職業に対するイメージの比較について報告する。

なお今回は、今後の研究のための予備的調査で

表1 対象者の属性

	平均年齢 (歳)	男子学生人数 (人)	女子学生人数 (人)
看護学科	18.44	1	78
衛生技術学科	18.46	0	39
診療放射線技術学科	19.17	11	18

表2 看護婦(士)をめざす学生の職業イメージ

概念	イメージ語句	回答数	概念	イメージ語句	回答数	
看護婦の特性を表すもの	清潔感あふれる	3	患者との関係や態度に関するもの	患者と接する機会が多い	1	
	身だしなみを整える	1		患者に接する時間が長い	1	
	すぐれた	1		患者に一番近い	2	
	かっこいい	2		患者の側にいる	1	
	よい	2		直接関わる	2	
	すごい	1		和らげてあげる	2	
	明るい	4		助ける/援助する	2	
	親近感	1		患者さんのために	1	
	笑顔	13		支え	3	
	人のためになる	1		勇気づける	1	
	しっかりした	4		元気づける	3	
	さっさと	1		一対一で向き合う	1	
	(+)イメージ	テキパキ		7	不安を取り除く	1
		的確な		1	苦痛や不安を取り除く	2
		母親のような		3	患者産の不安な気持ちを楽にする	1
		尽くしている		1	相談相手	2
		強い		8	患者を楽にする	1
		気づき		2	一緒に悩み考える	2
		自己管理する		1	よく聞く	2
		緊張		1	分かっている	3
	素早い	1	理解する	2		
	機敏	1	受け止める	6		
	敏感	1	患者の要望にすぐ気がつく	1		
	丁寧	1	患者を優先	1		
	冷静	3	患者の立場にたって	1		
	はっきりしている	1	相手を一番に考える	1		
	きちんとした	1	患者を注意してよく見ている	1		
	喜び	1	患者のよりどころ	2		
(-)イメージ	仕切る	1	患者の気持ちに寄り添う	1		
	冷たい	2	自分の判断で行動する	1		
	意地悪	1	技術を身につけた	3		
	怖い	1	洞察力	1		
	誇り	1	勉強している	3		
(+)イメージ	尊敬する	3	専門知識のある	1		
	楽しい	1	幅広い	1		
	輝いている	1	教わる/学ぶ	3		
	奥が深い	1	自分を発見する	1		
	やりがい	7				
	大変	9				
	忙しい	9				
	難しい	4				
看護業務に関するもの	ストレスがたまると	1	職業の専門性	伝達する	1	
	厳しい	6		患者と医師をつなぐパイプ	1	
	苦しい	1		医師のパートナー	1	
	きつい	8		医師の道具	1	
	苦勞している	1		ナイチンゲール	1	
	(-)イメージ	辛い		1	天使	2
		自分を偽性にする		1	白	1
		気力・体力がいる		1	白衣	2
		耐える		1	マザーテレサ	1
		時間が不規則		1	スーパーウーマン	1
		眠れない		1	女の人	1
		重労働		2		
		肉体労働		1		
		疲れ		1		
		仕事に追われがち		1		
	夜勤	3				
	夜の巡回	1				

あり、イメージを抽出することが目的であったのでデータの統計処理は行っていない。

III 結果

対象の属性は表1に示した。

■看護婦のイメージ

各学科の看護婦のイメージと出現頻度を表2・3・4に示した。看護婦に関するイメージでは、看護学科学生のイメージ語句は106種類(一人当たり1.34種類)、語句の延べ数は218語句(一人当たり

表3 臨床検査技師を目指す学生の看護婦のイメージ

概念	イメージ語句	回答数	概念	イメージ語句	回答数		
看護婦の特性を表すもの	迅速である	2	看護業務の特性に関するもの	やりがいがある	1		
	正確である	1		(+)イメージ	生きがい	1	
	テキパキしている	3			大切な	1	
	強い	2			立派	1	
	タフ	1			喜びが大きい	1	
	力強さ	1			感謝される	1	
	清潔	1			動き回る	1	
	(+)イメージ	思いやりのある		1		走り回る	1
		気遣い		2		忙しい	7
		優しい		9		辛い	1
		温かい		1		大変な	1
		母親のような		2		動きづめ	1
		親しい		1		重労働	1
		笑顔		3	(-)イメージ	ストレスがたまると	1
		安心して		1		体力が必要な	1
		冷静		1		精神的ダメージを受けやすい	1
		信頼できる		2		厳しい	2
		尊敬できる		1		きつい	4
		気持ちを理解する		1		難しい	1
		接しやすい		1		夜勤	4
	気配り/配慮	1		時間かバラバラ	1		
	相談できる	1		腰への負担が大きい	1		
	不安な患者の心のケア	1		夜遅い	1		
	患者さんを身近に感じる	1	その他	ミスは許されない	1		
	一番患者と人と人のつきあいをする	1		人の命に関わる	1		
	直接看護する	1	その他	女性	2		
				帽子	1		

表4 放射線技師を目指す学生の看護婦のイメージ

概念	イメージ語句	回答数	概念	イメージ語句	回答数		
看護婦の特性を表すもの	笑顔	3	看護業務の特性に関するもの	(+)イメージ	やりがいがある	1	
	気配り	1			すごい	1	
	気遣い	1			忙しい	2	
	優しさ	9			苦しい	1	
	たくましい	1			辛い	3	
	(+)イメージ	精神的に強い		2		厳しい仕事	1
		忍耐強い		1		きつい仕事	2
		疲れを見せない		1	(-)イメージ	夜勤	1
		親切		3		重労働	1
		献身的		1		不規則な時間	1
		思いやり		1		あまり進んでたくない仕事	1
		親身になる		1		見返りが少ない	1
		丁寧		1		体力がいる	1
		心強い		1		大変	7
		かっこいい		1			
その他	キラキラ	1	患者との関係や態度	人の痛みを知る	1		
	ニコニコ	1		気持ちを理解する	1		
	フワフワ	1		痛みを和らげようとする	1		
	白衣の天使	1		不安を取り除く	2		
	医療への知識	1		最も患者に接する機会が多い	2		
職業の専門性	カウンセラー	1					

表5 看護婦に対するイメージ語句の種類と一人あたりの平均数

	種類	学生1人あたりの平均種類数	のべ数	学生一人あたりの平均回答数
看護学科	106	1.34	218	2.75
衛生技術学科	53	1.35	96	2.46
診療放射線技術学科	40	1.27	65	2.13

表6 臨床検査技師を目指す学生の職業イメージ

概念	イメージ語句	回答数	概念	イメージ語句	回答数		
検査技師の特性を表すもの	割り切って考える	1	環境・仕事の内容	静かな部屋	1		
	正確さ	3		隔離された部屋	1		
	きちんと	1		ずっと座って	1		
	こつこつ	1		決められた仕事	1		
	細かい	4		一日中検査	3		
他の職種と関係	責任のある	2	その他	いつでも実験	1		
	医師の陰で働く	1		何でも調べる	1		
	陰で医師を支える	1		器械の仕事	2		
	業務に関するもの	(+)イメージ		医療の基本	1	器具を使う	1
				医師の行為に影響を与える	1	試験管相手	2
必要な			1	顕微鏡を覗く	6		
重要な			1	陰ながら	1		
常に新しいことを発見			1	表に出てこない	2		
(-)イメージ		大切な	2	一般的に知られていない	2		
		欠かせない	1	患者と接することがない	4		
		ストレスがたまらない	1	医療を裏で支える	1		
		楽しそう	1	間違いか許されない	2		
		大変な	1	白衣を着て	1		
その他	目が寝れる	1	研究者	1			
	健康に悪い	1	チーム医療の一員	1			
	精神面でエネルギーを多く使う	1					
	緊張した	1					
	根気のいる	1					

の平均回答数は2.75個)であった。衛生技術学科はイメージ語句53種類(一人当たり1.35種類)、語句の延べ数は96語句(一人当たりの平均回答数は2.46個)であった。診療放射線学科では、イメージ語句37種類(一人当たり1.27種類)、語句の延べ数は62語句(一人当たりの平均回答数は2.13個)であった(表5)。

■各学科の学生が目指す職業に対するイメージ

衛生技術学科の学生が臨床検査技師に対して抱いているイメージは表6、診療放射線学科の学生が放射線技師に対して持っているイメージは表7の通りであった。

他学科のそれぞれが目指す職種別のイメージ語句の種類と語句数は、衛生技術学科はイメージ語句43種類(一人当たり1.1種類)、語句の延べ数は65語句(一人当たりの平均回答数は1.67個)であった。診療放射線学科では、イメージ語句40種類(一人当たり1.38種類)、語句の延べ数51語句(一人当たりの平均回答数は1.76個)であった(表8)。

■3学科の比較

これらのイメージのうち、同じカテゴリーにあるイメージ語句の種類と出現頻度を各学科の学生が目指す職業別に比較してみると表9のようになった。

看護学科は看護婦の特性概念を示すイメージ語句が全体の33.5%であった。他学科から見た、看護婦の特性概念を表すイメージ語句は衛生技術学科が36.4%、診療放射線学科は46.7%であった。衛生技術学科、診療放射線学科のそれぞれの自分たちの目指す職業に関するイメージ語句はそれぞれ、18.5%、23.5%であり、看護婦に関するイメージよりも自分たちの職業人としての特性に対するイメージ語句が相対的に少ない印象であった。職業人としての特性のうち、看護学科の学生はわずかではあるが(2.3%)看護婦に対して「冷たい」「仕切る」「意地悪」などのマイナスイメージを持っていた。衛生技術学科や診療放射線学科の学生は職業人としての看護婦に対するそのようなマイナスイメージは見られなかった。しかし、看護婦の業務に関しては、看護学科の学生のうち、24.8%が

表7 放射線技師を目指す学生の職業イメージ

概念	イメージ語句	回答数	概念	イメージ語句	回答数	
放射線技師の特性を表すもの	(+)イメージ	慎重	2	業務に関するもの	需要が高い	1
		正確	1		就職は大丈夫	1
		テキパキ	1		仕事自体は大変でない	1
		責任感	2		今の医療になくってはならない	1
		人間としての優しさがある	1		必要不可欠	1
	(-)イメージ	カッコいい	1	役立つ	1	
		神経質	2	やりがい	1	
		冷たさ	1	人体の命に関わる	1	
		無機質	1	注意がいる	1	
		専門性	1	人体に影響	1	
他の職種と関係	技術がある	1	その他	少し危険	2	
	知識が豊富	1		苦労	2	
	エキスパート	1		大変	2	
	裏でサポート	1		自分の意見を聞いてもらえない	1	
	医師の判断で行う	1		大きな機械	1	
患者と関係	医師のオーダー	2	スイッチが多い部屋	1		
	医師の手助け	1	機械を扱う	3		
	患者との距離は短くない	1				
	患者と少し接する	2	男の人	1		
			女性もたくさんいる	1		
		検診車で学校を回る	2			
		白衣を着て	1			
		エンジニア	1			

表8 目指す職業に対するイメージ語句の種類と一人あたりの平均数

	種類	学生1人あたりの平均種類数	のべ数	学生一人あたりの平均回答数
看護学科	106	1.34	218	2.75
衛生技術学科	43	1.1	65	1.67
診療放射線技術学科	40	1.38	51	1.76

マイナスのイメージを持っており、衛生技術学科の学生が43.8%、診療放射線学科の学生が33.8%の割合でマイナスイメージを持っていた。特に夜勤などにより勤務が不規則、重労働であるという身体的な負担に関する内容が多かった(表10)。

看護婦のイメージの特徴としては、看護学科の学生は医療の受け手である患者との関わりを示すものが多かった(22.9%)が、衛生技術学科の学生は臨床検査技師の特性として患者との関わりを上げたものは無かった(0%)。また診療放射線学科の学生が放射線技師が患者との関わりを示していると捉えているものもわずか5.9%であった。その他の特徴としては、看護学科の学生はわずかではあるが「(患者から)教わる(常に)学ぶ」「自分を発見する」と言った業務からもたらされる精神的

な向上を示すようなイメージを持っていた。他の学科の学生は、自分の目指す職業に対してはこのようなイメージは見られなかった。

IV 考 察

イメージの特徴として看護学科の学生は、他の専門分野の学生に比べて、より患者との関わりや患者との接近した関係をイメージしている。これは入学後、1年次の前期から専門科目として看護学概論や看護技術が始まっていること、看護技術の中でも特に早い時期にコミュニケーションの講義が始まっており、患者との関わりをイメージしやすいのではないかと考えられる。

衛生技術学科の学生の特徴としては、表に出ず陰で医療を支える職業、また閉ざされた室内で機

表9 看護婦のイメージ

目 指 す 職 業 概 念	看護婦(士)(学生数78)		臨床検査技師(学生数39)		放射線技師(学生数28)		
	イメージ語句 の種類(個)	回答数 (個)	イメージ語句 の種類(個)	回答数 (個)	イメージ語句 の種類(個)	回答数 (個)	
目指す職業の特性	プラスイメージ	28	68(31.2%)			6	20(15.7%)
〃	マイナスイメージ	4	5(2.3%)	6	12(18.5%)	3	4(7.8%)
〃	そ の 他	0	0			0	0
目指す職業の業務	プラスイメージ	6	14(6.4%)	9	10(15.4%)	8	8(15.7%)
〃	マイナスイメージ	20	54(24.8%)	6	6(9.2%)	6	9(17.6%)
〃	環境・仕事の内容	0	0	6	12(18.5%)	0	0
〃	そ の 他	0	0	11	20(30.8%)	3	5(9.8%)
専門性		6	10(4.6%)	0	0	3	3(5.9%)
業務よりもたらされるもの		2	4(1.8%)	0	0	0	0
他業種との関係		4	4(1.8%)	2	2(3.1%)	4	5(9.8%)
患者との関係・対応		29	50(22.9%)	0	0	2	3(5.9%)
その他		7	9(4.1%)	3	3(4.6%)	5	6(11.8%)
計		106	218(100%)	43	65(100%)	40	51(100%)

*百分率は各学科のイメージ語句の延べ数に対する回答数の割合を示す。

表10 目指す職業に対するイメージ

目 指 す 職 業 概 念	看護婦(士)(学生数78)		臨床検査技師(学生数39)		放射線技師(学生数28)		
	イメージ語句 の種類(個)	回答数 (個)	イメージ語句 の種類(個)	回答数 (個)	イメージ語句 の種類(個)	回答数 (個)	
目指す職業の特性	プラスイメージ	28	68(31.2%)	18	35(36.5%)	15	28(43.1%)
〃	マイナスイメージ	4	5(2.3%)	0	0	0	0
〃	そ の 他	0	0	0	0	4	4(6.3%)
目指す職業の業務	プラスイメージ	6	14(6.4%)	6	6(6.2%)	2	2(3.1%)
〃	マイナスイメージ	20	54(24.8%)	17	42(43.8%)	12	22(33.8%)
〃	そ の 他	0	0	2	2(2.2%)	0	0
専門性		6	10(4.6%)	0	0	1	1(1.5%)
業務よりもたらされるもの		2	4(1.8%)	0	0	0	0
他業種との関係		4	4(1.8%)	8	8(8.3%)	0	0
患者との関係・対応		29	50(22.9%)	0	0	6	8(12.3%)
その他		7	9(4.1%)	2	3(3.1%)	0	0
計		106	218(100%)	53	96(100%)	40	65(100%)

*百分率は各学科のイメージ語句の延べ数に対する回答数の割合を示す。

械相手の細かい作業をしているというイメージを持っていることが分かった。職業人としてのマイナスイメージは今回は見あたらなかった。臨床検査技師は心電図, 超音波などの検査によって直接患者と接する機会も多くあり, また病院内では重篤な症状の患者に対する検査も行われる。患者に対する技師の対応も当然重要となってくるのが考えられるが, 対人関係を表すようなイメージ語句は見あたらなかった。

診療放射線学科の学生は技術的なものに対してや機械相手のイメージと共に患者に直接対応するというイメージも持っていることが分かったが, その割合は少なかった。これらのことは, 衛生技術学科と診療放射線学科の科目の中で看護学科の看護学概論に相当する科目(臨床検査総論・臨床医学概論)がそれぞれ一年後期, 3年前・後期に行われており, 1年次の入学した直後の時期には, 患者との対応についてイメージしにくいことが要因ではないかと考えた。

看護学生も他の学科の学生も看護婦の仕事は「辛い」「きつい」「体力がいる」「重労働である」などの労力を要するイメージが強いことが分かった。その中で, 看護学科の学生は看護婦という職種に「やりがいがある」「尊敬する」「喜び」「誇り」などの価値や意義に関するイメージが見られる。特に「やりがい」に関しては看護学科の学生の方が他科の学科の学生が自分の目指す職業に求める割合よりもやや高かった(看護学科3.2%, 衛生技術学科0%, 診療放射線学科1.6%)。これは石井らが⁶⁾, 3年課程の短期大学の看護学科生に対しSD(Semantic Differential technique)法によるイメージ分析を行った結果, 1年次は看護を『労は多いが価値があり責任感が必要である』とみているという報告と類似しており, 看護学科の学生の看護婦という職種に対する期待が高いことを表していることが考えられる。

医療系の学校に入学する学生は, 他の学部・学科の学生に比べ将来の自分の進む進路に対して比較的目的意識がはっきりしていると考えられる。医療は多くの知識や技術を駆使すると共に, 専門職としての態度が求められる。しかし, 近年の成

績の振り分けによる志望校の選択では自分の望んだ進路とは一致しないことも十分あり得る。又, 生活体験の乏しさから, 筆記試験の成績がよくても臨地実習を経験して挫折する学生も増えている印象を受ける。文部省は, 1991年の「21世紀の命と健康を守る医療人の育成を目指して」⁷⁾の中で, 「大学・学部の選択において偏差値が一つの判断基準になっており, 国民の健康を預かる医療人になるための人材をどのように選考すればよいのかは, 大きな課題である」としている。この背景には, 18歳時点で明確な目的意識を持って医療関係学部に進学することは難しいのではないかと, という指摘がある。今回の調査対象も1年次の入学間もない時期の学生であり, 自分たちが目指している職種に対してまだ漠然としたイメージしか持っていないと推察される。さらに, 医療中の職業に対する位置づけも, どの専門分野の学生も医師との関連のみをあげており, CO-WORKERとしてのお互いに対する理解もまだまだ足りないと考える。今後学生自らが, 専門職としての自覚を持ち態度形成をして行く為には, お互いが何を成す役割を担っているのかを見いだせるような支援を, 専門教育以前から行う必要がある。さらに石井らは⁸⁾, 「目的意識, アイデンティティの確立の違い」が看護婦に好意的・肯定的イメージを抱くかどうか影響していると報告しており, 学生が自分たちの職業イメージを再確認しながら学習を進めていくことも必要である。

学生の専門職者への認識形成には段階的な発展過程があり, それは必ずしも順序を追って進むものではないことが報告されており, その認識の発展過程を進めていくためには学生の頭脳の中に具体的な現象をもとに, 自力で表現し, 理論的な根拠へと抽象化を進める授業が不可欠であることが指摘されている⁹⁾。今後の専門職への認識形成を進めていくには学生が目指すイメージを具体的に表現してゆけるような授業のあり方を模索してゆくことが重要である。

V まとめ

医療人を目指す学生の職業イメージについて以

下のことが分かった。

- 1) 看護婦の特性を表すイメージ語句は、3学科の学生とも他職種に比べ多く見られる。
- 2) 他学科の学生は看護婦の特性をほとんどプラスイメージで捉えている。
- 3) 看護業務に関するイメージ語句はどの学科もマイナスイメージのものが多い。
- 4) 看護婦に関しては、医療の受け手である患者との関わりを示すイメージ語句が多く見られる。
- 5) 看護学科の学生にはわずかではあるが精神的な向上を示すようなイメージ語句が見られる。
- 6) どの学科の学生も自分たちが目指す職業に対して漠然としたイメージしか持っていない。

VI 終わりに

今回の調査で、医療人を目指す学生が各々の職種にどのようなイメージを持っているか、又他の医療職を目指す学生が看護婦にどのようなイメージを抱いているかを明らかにした。

今後、今回得られたイメージ語句を手がかりに、縦断的に学生の職業イメージを調査し、よりよい医療人育成のための授業形成の方法を探っていきたい。

VII 引用および参考文献

- 1) 新村出編：広辞苑，岩波書店，1980
- 2) ボウルディング .K.E., 大川信明訳：ザ・イメージ，誠信書房：4，1979
- 3) 庄子由美，小山田信子 他：平成3年度，平成7年度看護学科入学生を対象とした看護に対するイメージの比較，東北大学医療技術短期大学部紀要，5(1): 41 - 50，1996
- 4) 中津川順子，村島さい子：看護学生の看護に対するイメージ言語の分析 - 基礎実習前後の比較より -，日本看護科学会誌，17(3): 98 - 99，1997
- 5) 曾根原純子，小林千世：看護学生の看護婦イメージに関する研究 - 理想と現実の学年別比較 -，信州大学医療技術短期大学部紀要，23: 13 - 23,1997
- 6) 石井範子，平元泉，志賀令明，堀井雅美：看護学生の看護に対するイメージの変容について (2) - 縦断的方法による検討 -，秋田大学医療技術短期大学部紀要，5(1): 51 - 56，1997
- 7) 文部省高等教育局 医学教育課：21世紀の命と健康を守る医療人の育成を目指して，21世紀医学・医療懇談会第1次報告，1991
- 8) 石井範子，平元泉，志賀令明，堀井雅美，平むつ子，宮本規久子：看護学生の卒業時の看護に対するイメージについて - 学生の学校種別の比較 -，秋田大学医療技術短期大学部紀要，6(1): 77 - 85，1998
- 9) 戸田肇：学生の看護職者への認識の形成と発展過程，千葉看護学会会誌，2(2): 38 - 46，1996
- 10) 勝原裕美子：日本の看護婦・士の Professionhood を構成する要素，日本看護科学学会誌，19(1): 42 - 48，1999
- 11) 菅原邦子，今野祐子：看護学生の早期臨地体験学習前・後の看護婦イメージ，天使女子短期大学紀要，19: 47 - 56，1998
- 12) 小笠原昭彦，鈴村初子：看護短期大学学生の自我同一性地位と看護婦イメージ，名古屋市立大学看護短期大学部紀要，10: 81 - 90,1998
- 13) 中川歌子，池田洋子，下田文子，加藤愛子：新採用看護婦の TEG (東大式エゴグラム) と職場への適応，共済医報，47(3): 208 - 213,1998
- 14) 平元泉，石井範子，志賀令明，堀井雅美：看護学生の看護に対するイメージの変容について (3) - 3年次学生の入学動機および進路志望別比較 -，秋田大学医療技術短期大学部紀要，5(1): 63 - 67，1997
- 15) 玉木敦子：看護学生の看護婦イメージと自己評価 - 相互的コミュニケーション技術の視点から -，大阪府立大学医療技術短期大学部紀要，2: 67 - 75，1996
- 16) 小林千世，曾根原純子：セルフ・エスティーム得点による看護系短大生の理想の看護婦イメージの分析，信州大学医療技術短期大学部紀要，21: 77 - 89,199